|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 【学籍番号】＃半角英数 | 【名前】＃姓と名の間に全角空白 | 【指導教員】＃職名と姓名の間に全角空白 |
| 14H5-999 | 明星　太一 | 教授　山上研次郎 |
| 【題目】＃途中改行不可 | 【要約】＃400文字以内（字数厳守・途中改行不可） | |
| 減る高給より増える薄給が好ましい—利得の連続的変化が対象への態度形成に及ぼす影響の検討— | 本実験は新奇無意味図形への態度形成において態度対象がもたらす利益の経時的増大と減少が与える影響を検証した。獲得フェイズにて、参加者は試行毎に2つの無意味図形のうち1つを選び、対応する金銭的報酬を得た。その際、一方の無意味図形(減少条件)の報酬額は大きいが試行毎に単調減少し、他方の無意味図形(増大条件)の報酬額は小さいが試行毎に単調増大し、獲得フェイズ終了直前の試行では両者がほぼ同額となった。続くテストフェイズにて、各図形に対する好意度を比較選好課題とSD法にて測定した。以上の実験の結果、2図形の好意度に有意差はみられなかった。各図形の報酬総額から推測して、減少条件>増大条件の好意度差が発生するところが、本実験における報酬の単調増大・単調減少によってその差が消失した可能性があるが、本実験ではそれを明らかにするための統制群が存在しなかった。本研究結果から、統制群を加えた検証の必要性が示された。 | |

* フォントの大きさは12ポイントとする／下記フォーマットの変更を禁ずる
* 【題目】において副題が存在する場合、副題の前後に「—」（半角emダッシュ）を1個ずつ付ける­
* 記入後のファイルをまず指導教員に送り、許可を得てから提出作業を行う